

## 【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。  
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。  
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。  
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能ですがあまり極端な使用はお控えください。  
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。  
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。  
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。  
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

**【重要】teacup.byGMOのサービス終了について**

<思いやりのあるコミュニティ宣言>  
teacup. 掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。  
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

メール

題名

投稿

確認

内容



入力補助



画像・ファイル

<IMG> youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

[\(詳細\)](#)

URL

[ [ケータイで使う](#) ] [ [BBSティッカー](#) ] [ [書込み通知](#) ] [ [検索](#) ]

キーワード: [旭川](#) [情報](#) [歴史](#) [ [その他](#) ]

検索

《前のページ

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

次のページ》

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

Re: 行ってきました。国見の碑 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年 8月 9日(木)17時05分52秒

[返信・引用](#)

国見を行なった時の岩村通俊の立場は「司法大輔」ですから、現在で言うなら法務省事務次官、すなわち大臣のすぐ下に位置する中央役人のトップの座にいたわけですね。

永山武四郎も陸軍少将であり、この年屯田本部長となりましたから武人として道内トップの立場です。  
二人ともかなりのお偉いさんです。

下の写真は4年前の5月に写したのですが、まだ新緑が吹いたばかりの時期なので樹木を透かして上川盆地を見通すことができます。これが6月以降になると葉っぱが厚く生い茂って晩秋に落葉するまで見通しがきかなくなります。かんじさんが行った時もほとんど何も見えなかったんじゃないですか？

この写真を見て明らかですが、たとえ樹木に邪魔されずに見通せたとしても、ここからでは左手前方の嵐山に遮られて上川盆地の南側しか見渡す事ができません。永年上川に熱い想いを抱き続け、ようやく念願の国見が実現した岩村通俊ですから、当然この原野がいったいどこまで続いているのかしっかり自分の目で確認したかったらと思うのです。もちろん道案内の上川アイヌだっってここよりずっと眺望の良い嵐山の存在を知らないはずがありません。私が岩村通俊なら即座に「もっと全部見渡せる場所はないのか？そこの前に見えてる山はどうなんだ？」と聞きます（笑）

この国見では、山頂付近にかなり長い時間滞在していたと思われます。近文山から嵐山山頂まで獣道とはいえせいぜい1kmほど。私が、この間に一行は今の嵐山まで足を延ばしてるのではないかと推測する根拠です

[http://9008.teacup.com/momonga\\_farm/bbs/78](http://9008.teacup.com/momonga_farm/bbs/78)

嵐山にロープウェイ、あるといいですね。いつのまにか計画も消えてなくなりました。あの道路もせめて観光バスが登れる程度に整備してほしいものです。



Re: 行ってきました。国見の碑 投稿者:かんじ 投稿日:2012年 8月 8日(水)10時19分11秒

[返信・引用](#)

> [No. 654\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> つまり「近文山の国見」とは言っても、現在の近文山のみを指しているとは限りません。  
> 一行がアイヌ人に案内されて今で言う嵐山まで足を延ばした可能性は充分あると思います。

なるほど納得です。  
それから岩村通俊や永山武四郎といえどももの凄く偉い人だったのでし

ようから。  
国見をすれば御付の人達が、邪魔になる木々は簡単に打ち払って見通しを良くしたんじゃないですかね。

私はこれまでも嵐山には良く行くし今回、国見の碑にもいって見ましたが、旭川市はこの両展望箇所を全く生かしていないと強く思います。陶芸の里からロープウェイを作るという計画もあったようですが、そこまでとは言わなくともアクセス道路を整備して展望を良くして、市民にもっとアピールすれば、重要な観光資源になるし、旭川の歴史にもふれられると思うんですけどねえ。市長、この掲示板見てません？

Re: 行ってきました。国見の碑 投稿者: momonga 投稿日: 2012年 8月 8日(水)01時29分22秒

[返信・引用](#)

岩村通俊や永山武四郎の一行が近文山からの国見を行なったのは8月27日。旭川開村までの過程の中で頻りに登場する近文山ですが、今この時期この山に登っても、確かに雑木林に邪魔されてほとんど見通しがきかないですよ。永山武四郎が陸軍次官桂太郎中将と共に、近文山より眺めが良いという事で登った半面山にしても同様です。近年では嵐山の展望台ですら周りの樹木に邪魔されて見通しがきかなくなって来てますよね。

おそらく当時は今ほどに雑木林が生い茂っていなかったと思われます。「国見の図」を見ても周りは背の低い笹藪で、樹木はかなり少なそうです。それでもなきゃこんな見通しの悪い山が旭川市史上でこれほど登場する道理が成り立ちません。

かなり以前この掲示板でも話題になりましたが、私は近文山の定義は現在と一緒にできないと思っています。国見の当時は現在で言う近文山や嵐山など個々の峰の名前はまだ付いておらず、石狩川から北はすべて近文（チカップニ）であり、この辺一帯の山々も広い範囲で漠然と近文山と呼ばれていたに過ぎません。

つまり「近文山の国見」とは言っても、現在の近文山のみを指しているとは限りません。石碑が立てられたのは確かに現在の場所に違いありませんが、一行がアイヌ人に案内されて今で言う嵐山まで足を延ばした可能性は充分あると思います。

(石碑は、運ぶのに雇われたアイヌ人が途中で放棄した事もあり、石狩川から最も近い峰に立てられた?)


行ってきました。国見の碑 投稿者: かんじ 投稿日: 2012年 8月 7日(火)22時51分30秒

[返信・引用](#)

山登りの苦手な私はmomongaさんのように行きませんが近文山に登ってきました(^.^):  
いつかは行かなくてはならないとずっと思っていたのですが、天気がよくて涼しい、こんな日を逃す訳には行きません。そこで思い切って行ってきました。車を降りて600m、山の尾根を進むとありました。旭川の原点、国見の碑。これを見ずに旭川を語る事は出来ません。意外だったのは思ったよりも小さかった事です。2mはあるかと思っていたのですが、地上に出ている部分は1.4mくらいでした。でも石造りのこの碑を明治19年にこの地に建てたのかと思うと何となくジーンと来ましたよ。残念だったのは、そこからの上川の景色が木々に遮られて良く見えなかったことです。旭川にとって重要な景色である国見の碑の場所は是非、上川盆地が見える状態にして頂きたいと強く思いました。疑問に思ったのは、「なぜもう少し先の嵐山迄行って国見をしなかったのだろう」「その方が遥かに景色が良かったはずなのに」という事でした。





黒岳山行 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2012年 8月 5日(日)12時54分38秒

[返信・引用](#)

しばらく軍人勅諭大額の話題が続きましたので、ちょっと清涼を。

先週末、黒岳へ登ってきました。  
黒岳へ登るのは実に17、8年ぶりです。  
黒岳石室は相変わらずでしたが、トイレはバイオトイレになって「使える」トイレになってましたね（笑）

白人系の外人さんがずいぶん多かったのが印象的です。  
カップルが3組ほど、女性1人歩きも2~3人、それぞれ国は分かりませんが1人はドイツ語でした。

天気はまずまずだったのですが、頂上付近は飛ばされそうな風が吹き荒れてました。  
やむを得ず真っ暗な石室の中で昼食。  
やっぱり山でつくるインスタントラーメンの味は最高です。

上： 黒岳頂上。標識右手が凌雲岳、中央奥の北鎮岳は雲に隠れて見えない。

中： 頂上より石室へ向かう。白鳥の雪渓は融けて形がくずれている。

下： 石室近くのお花畑と雪渓のコラボ。烏帽子岳も雲に隠れて見えない。



黒岳山行 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2012年 8月 5日(日)12時51分0秒

[返信・引用](#)

上： お花畑の花は、チングルマとエゾツガザクラでした

中： 下山途中雨がパラつきその後虹が出ました。虹を見下ろすというのも高山ならではの光景。

下： 五合目と七合目のロープウェイ駅やリフト乗降所付近にはシマリスがちよろちよろ出てきます。





---

Re: もしかして緑青？ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 8月 3日(金)16時34分8秒

[返信・引用](#)

> [No. 647\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 大額が青銅製というのが事実なら緑の正体は緑青（ろくしょう）の可能性が充分ありますね。  
今日、郷土史家の高田さんに確認したところ、青銅製というのは間違いありません。  
文書の中で「青銅製の、、、、、、」という記録があるそうです。

緑青による変色説を説明したところ、高田さんも賛同してくださりましたが、

引き続き情報収集は続けてくれるそうです。

---ここでニュースがあります---

NHKの短い特集で旭橋を含め戦争中の思い出を語る5分間の番組を作っているそうです。

そこで思い出のあるご老人が旭橋や出兵の事を語る場面と、それを取り囲むように旭橋を語る会の会員が7人で軍人勅諭について語り合う場面を撮影しました。私も呼ばれまして参加しましたので、編集次第ですがチラッと映るかも知れません。  
(^^);

Re: あの絵はカレンダー 投稿者: momonga 投稿日: 2012年 8月 3日(金)12時05分53秒

[返信・引用](#)

そうですか、カレンダーでしたか。

現代では当たり前のカラー挿絵入りカレンダーが何時頃から世に出回り始めたのかわかりませんが、戦後とは言ってもそれほど古くはないですよ？自分が子供の頃はまだ日めくりがメインだったので、今風の挿絵・写真入りカレンダーの普及はせいぜい昭和30年代後期から40年代以降のような気がします。それも最初の頃は記念切手のように何かを記念して刷られるケースが多かったのではないのでしょうか。

このカレンダーも、開基〇〇周年とか市制施行〇〇周年記念のようなものの一部っぽいですよ。国旗の掲げ方がちょっと違いますが、旭橋開通時を表した絵のような気がします。おしいなあー、カレンダーの挿絵の隅にはよく小さく作者名が記されているんですけどね。

それはともかく、連日の調査本当にごくろうさまです。お仕事、大丈夫ですか^^;

> でも、なんとなく自分の中では確信が出来つつあります。  
> 北鎮記念館の赤はあまりにもとっぴではありますが、鋳物のように見える大額は  
> たぶん青銅製で、製作直後は銅色をしていたのでしょうか。  
> その後黒っぽく変色し最終的には緑青（ろくしょう）を発生した青銅色になったと想像します。

おそらく間違いないでしょうね。吉田初三郎の絵も、おゆきさん投稿のカレンダーも、北鎮記念館のレプリカも、そしてかんじさんが聞き歩いたお年寄りの証言も、そういう意味ではみな間違いではないと言えます。

後はじっくり新しい情報が現れるのを聞き耳立てて待ちましょう。  
(私は昨日親父に大額の写真を渡して短歌仲間に聞いてくれるよう頼んできましたが期待薄です)

あの絵はカレンダー 投稿者: かんじ 投稿日: 2012年 8月 2日(木)12時33分45秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

兵村記念館へ行って来ました。おゆきさんの紹介して下さった絵がそこにはありました。館長にお会いして、その絵の出所を訪ねると、神楽岡に住む百井昌男さんという方の資料だそうです。そこで、その足で百井さんを訪ねたところ、あの絵は戦後カレンダーとして製作されたものの一部だそうです、カレンダーを切り抜いた形で収集されたそうです。そのカレンダーの絵を書いた人はわからないと言われてしまいました。百井さんは収集家として有名な方らしく、他にも旭橋に限らず膨大な量の資料をお持ちでした。それこそ、2階の天井が抜けるほどの資料の山の中にお住みでした(^)なので残念ながら、あの絵を書いた人が何を元にあの額を書いたのかはわからないという結果となってしまいました。

おゆきさんのご好意が結果に結びつかず残念です(;\_;)

でも、なんとなく自分の中では確信が出来つつあります。  
北鎮記念館の赤はあまりにもとっぴではありませんが、鋳物のように見える大額はたぶん青銅製で、製作直後は銅色をしていたのでしょう。  
その後黒っぽく変色し最終的には緑青（ろくしょう）を発生した青銅色になったと想像します。  
絵画の調査の件でその後再び江口日曜堂へお伺いしてご主人と話したのですが、こちらから言い出す前にご主人も銅の色が青銅色に変わったのではという意見を言ってくれました。  
その方が自然ですし、当事の印象を語る方が緑っぽいと言われる説明が付きます。仮に赤だとしたら、記憶を語る人が皆嘘をついている事になりますので、それも不自然です。

また、当事は軍人勅諭のようなものを凝視するような時代ではなかったし、印象としては真ん中の旭日章ばかりが目立って背景の額の色まで覚えている人などいないのではとっていました。  
なのでこれ以上の聞き取り調査も困難な気がします。  
古い絵画のようなものでハッキリと証拠が出てくればいいのですが、大正時代から旭川の西洋絵画の中心的存在であった江口文具店でも、旭橋は絵画の題材としてはふさわしくないの、古い旭橋の絵画を見た記憶が無いとっていました。



もしかして緑青？ 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2012年 8月 2日(木)12時03分39秒

[返信・引用](#)

大額が青銅製というのが事実なら緑の正体は緑青（ろくしょう）の可能性が充分ありますね。  
緑青は銅に発生する錆びのようなものですから年数を経るごとに表面を覆って行きます。  
敢えて塗装をせずにしたならば、鎌倉の大仏よろしく白っぽい緑に覆われますよね。



つまり大額が掛けられた当初は青銅の地の色であったが、間もなく茶色（暗い赤とも言える）に変色し、何年か後から徐々に緑色へと変色して行く・・・かんじさんがお聞きになった通りだと思います。

吉田初三郎が描いた旭橋や、おゆきさんの投稿された絵の旭橋は、開通後あまり年数の経ってない頃に描かれたものではないでしょうか。（吉田初三郎は昭和11年？）

>絵にキャプションを入れるということは、、、、。  
>これは戦後市電が無くなった後に書かれた可能性があります。

キャプションもそうですが、絵の端のほう（川と橋脚の辺り）は明らかに編集されていますよね。これ自体はたぶんポスターか何かのための複製だと思います。これの原画となった絵があるはずで、それは戦前に描かれているのではないのでしょうか。原画の作者が分かればいいんですけどねえ・・・

気になることが 投稿者:かんじ 投稿日:2012年 8月 2日(木)08時48分21秒

[返信・引用](#)

大発見に浮かれていたのですが、ちょっと気になる事が。それはおゆきさんのご紹介くださった絵をプリントしてみたのですが、絵にキャプションが入っているんですね。読めそうな部分を読むと「旭橋上の市電」って読めます。絵にキャプションを入れるということは、、、、。これは戦後市電が無くなった後に書かれた可能性があります。何かの説明図なのかも知れませんが、いずれにしても早速調べてきます。

それから、昨日の「旭橋を語る会」の会議で出た話なんですが、資料などでは赤っぽい絵が見て取れるのに、当事の記憶を持つ人には派手な色ではないとか、グリーン系統だという人がいます。ひょっとしてこれは、大額は青銅製で製作直後は丁度新品の10円玉のように茶色っぽい銅の色をしていたのが、年数を経て黒っぽく変色し最終的には安定した緑っぽい青銅色になった可能性がある、という説です。そうであれば色がハッキリしないことや、お年寄りの記憶では終戦まじかの記憶でしょうから、年数を経て緑っぽく変色した額であったというのが矛盾しないで説明が付きます。

不思議、でも面白いですね～。

Re: 旭橋の絵 投稿者:momonga 投稿日:2012年 8月 1日(水)22時18分5秒

[返信・引用](#)

おゆきさん、はじめまして。

何がお邪魔なもんですか！  
ここしばらく赤だグリーンだと決定打をつかめずに悶々としていた疑問を見事一発逆転してくれたではありませんか！  
絵の作者や出所はこれからじっくり調べればよいのであって、まずはこういった絵の存在を知る事そのものが重要です。

戦前の旭橋と電車をこれだけ克明に描いているという事は、たぶんそれなりの方が描いたものと思われまして、おそらく思い出などではなく、当時実際に見ながら描いたものではないでしょうか。まさに我々が欲していた絵画です。投稿してくださったおゆきさんには深く感謝です。m( )m

かんじさん、良かったですネ。(^^)

おゆきさんの投稿してくださった絵によると、やはり吉田初三郎の描いた色合いとほぼ同系色ですね。  
 やっぱ赤系、それも茶に近いかなり暗めの赤系色というのが濃厚とされます。  
 もしかしたら錆びの色という事も考えられるのかな・・・それはないか。

旭橋の絵 投稿者: [おゆき](#) 投稿日: 2012年 8月 1日(水)20時04分5秒

[返信・引用](#)

momongaさんこの場をお借りします。御容赦下さい。

かんじさんへ

ありがとうございます。しかしながら前回の内容通り”製作者・製作年月日”が私の浅い調べでは、まったく判っていません。  
 もしかすると、レプリカを参考に・・・等とも考えています。

- > 博物館の館長の知り合いが所蔵ですね。
- > 兵村記念館の館長ですよね？

兵村記念館の館長が不在だった為、正確な所は判りませんが  
 記念館で電話対応して下さった職員のお話では  
 この特別展の展示物は  
 「博物館などから借り受けた。」  
 「館長（兵村記念館）の知合いからも借り受けた。」  
 「旭橋の絵は兵村記念館で常設展示はしていないので借り物だろう」と言う 回答をして頂きました。（今日です！）

兵村記念館の館長さんならば、”あの絵”のことを御存知だろうと 思います。

ちなみに 特別展と言うのは  
 2008年に兵村記念館で行われた「日本最北の電車が走った町」です。  
 ”あの絵”に描かれている電車が展示に繋がったのでしょうか。

画像の撮影者は残念ながら私ではありません。  
 郷土史に興味を持っている私に、実家の古いアルバム等を見せてくれる友人からメールで送ってもらいました。  
 画像処理（着色など）は無い そーですが、サイズが小さいです。

旭橋の絵 の情報はこの程度ですが 少しは力になったでしょうか？  
 カンジさん この後は、よろしく願います。

momongaさん 御邪魔致しました。

Re: はじめまして 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 8月 1日(水)15時41分4秒

[返信・引用](#)

> [No. 642\[元記事へ\]](#)

おゆきさんへ

- > 製作者・製作年月日・所有者にすら辿りつけていない、不完全な情報です。
- > 申し訳ない・・・。

おゆきさん、すごー—————い！  
 大発見じゃないですか。  
 不完全なんてとんでもない。大発見だあ——。  
 実は今日も「旭橋を語る会」のメンバーで集まって額の話をしていたのです。  
 そこで私が絵を探して見ますと言って来たばかりでした。  
 明日にでも早速行って見ます。  
 この絵では見事に赤（暗い赤）ですね。  
 博物館の館長の知り合いが所蔵ですね。  
 兵村記念館の館長ですよね？  
 すみません。是非教えてください。  
 この写真はおゆきさんが撮ったもののでしょうか？

はじめまして 投稿者: [おゆき](#) 投稿日: 2012年 8月 1日(水)14時52分57秒

[返信・引用](#)

はじめまして。「論・旭川」の隠れファン おゆき と申します。  
最近 熱を帯びてきた”軍人勅諭の額の色”について  
諸兄は御存知の事と思いますが、私も少しだけ参加したく  
あえて投稿いたしました。  
この画像は、過去に兵村記念館の特別展で展示されていた絵です。  
記念館に問い合わせをしましたが、館長さんが不在の為  
詳しい事は分かりませんでした。  
対応して頂いた職員の方からは、博物館や館長さんの知合い等から  
お借りした物であり、兵村記念館所有の作品では無いそうです。  
製作者・製作年月日・所有者にすら辿りつけていない、不完全な情報です。  
申し訳ない.....。

現在 旭川の橋をテーマにした企画展「ふるさとの橋物語」が  
旭川兵村記念館で開かれているそうです。  
なにか有力な情報が、あれば良いのですが.....

これからも momongaさん 諸兄の旭川研究を楽しみにしております。  
しょうもない投稿ですみませんでした。



Re: ライフワーク 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 7月31日(火)18時07分14秒

[返信・引用](#)

> [No. 639\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 私は、写真がだめならどこかに絵画が残ってないだろうか、と思いました。  
> 色付きの絵葉書などがあれば一番間違いないですが、極端な話子供が描いた絵でも何でもよいですね。  
そうなんです。今日ある方と話している時に「戦前でも旭橋は絵画に描かれたんじゃないの？」  
「写真は白黒でも絵画は色つきでしょ」と言われ、なるほど！と思ったばかりでした。  
確かに戦前に旭橋を描いた絵画は結構あったのではないかと思うんですね。  
新たな方向から調査を継続いたします。

ふくすけさんへ

私は年表的な歴史はあまり得意ではないのですが、旭川の古いモノや時代を経たものが好きです。  
調べると色々わかってくるのも面白いです。  
旭橋の額はひょんなことから頭にこびりついた疑問が解けなくてすっかり大事になっています(^\_^)  
どうぞよろしく。

Re: はじめまして 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年 7月31日(火)16時00分42秒

[返信・引用](#)



ふくすけさん、はじめまして。  
論・旭川サイト及び当掲示板へのご来訪感謝いたします。

私も旭川の歴史に興味を持ち始めたのは、ほんの10年ほど前です。  
ひょんな事から上川離宮計画の実態を調べ始め、関連する形で軍都としての発祥も調べるうちに、  
「なぜこれだけ興味深い歴史ストーリーを持ちながらもっと表に出て来ないのだろう？」  
と不思議に思ったものです。

また、旭川の名の由来については、  
それ以前から一般的に言われているアイヌ語意識説に漠然とした不自然さは感じていたのですが、  
意外にも上川離宮と軍都の歴史を調べて行く過程で、目からウロコでした。  
「何の事はない、アイヌ語意識という事にしておきたいだけの話か・・・」  
と言う以外に自分の結論は見出せませんでした。

＞ 余談ですが、私の父方の祖先は明治時代に移住し戦後まで味噌や醤油を作る醸造所？を営んでいたそうで、母方は屯田兵として明治25年に入植、曾祖父や祖父達が存命の間に何故もっと話を聞いておかなかったか・・・後悔しっぱなしです。

まったく同感です。  
実は、私の亡くなった親戚にも最初の旭川市史編さんに携わった郷土史家がおりました。  
すごい人だったんだと知ったのがやっところこ10年間の事ですから情けない話で、時既に遅しです。

明治に入植されて醸造所を開いたということですが、結構名門だったのではないですか？

---

Re: ライフワーク 投稿者: momonga  投稿日: 2012年 7月31日(火)14時33分44秒

[返信・引用](#)

かんじさん、たいへんご苦労さまです。  
私が「お任せします」なんて軽く言ったばかりに・・・m( )m

文学作品を当てるのも一つの手ですね。  
あるいは文学とまで行かなくとも様々な郷土関連の文献や資料などに記述されてる可能性もあります。  
私は、写真がだめならどこかに絵画が残ってないだろうか、と思いました。  
色付きの絵葉書などがあれば一番間違いないですが、極端な話子供が描いた絵でも何でもよいですよ。  
戦前の貧しい時代だから色付きの絵は子供には難しいか・・・。

私も心当たりを少し当たってみる事にします。

---

はじめまして 投稿者: ふくすけ 投稿日: 2012年 7月30日(月)18時18分28秒

[返信・引用](#)

こんにちは初めまして。  
私は旭川近郊在住のふくすけと申します。  
生まれも育ちも旭川ですが、郷土の歴史などに興味を抱く事もなく30年以上過ごして来ました。  
ところが最近になって、先人の方々が歩いて来た道やふるさとの歴史に興味湧き始め、色々と調べているうちにmomongaさんのサイトへ辿り着きました。  
論旭川のコンテンツのすべてに大変感銘を受け、特に「日の出づる川」のウソで述べられておられます旭川の名前の由来についての論説には驚きすら感じました。  
このような素晴らしいサイトと、こちらの掲示板での皆さんの貴重なお話を拝見させて頂ける事は私にとって大変貴重で喜ばしいことです。ありがとうございます。

余談ですが、私の父方の祖先は明治時代に移住し戦後まで味噌や醤油を作る醸造所？を営んでいたそうで、母方は屯田兵として明治25年に入植、曾祖父や祖父達が

存命の間に何故もっと話を聞いておかなかったか・・・後悔しっぱなしです。

ただ、終戦当時は女学校に通っていたという昭和3年生まれの父方の祖母がまだ元気で存命ですので、軍人勅諭の色について何か記憶がないかどうか聞いてみたいと思います。

ライフワーク 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 7月30日(月)16時01分31秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

軍人勅諭の額の色を求めて、迷宮のラビリンスです。  
 さて今回は高田さんにお会いして色々知識を得たというところまででしたが、今回は、、、。  
 その後特に動きも無く情報もこれまでかと思っていたのですが、一つ可能性を思いつきました。  
 それは文学作品の中に旭橋の描写を細かく記述したものがあるかもしれないという可能性です。  
 ひょっとしたら作品の中に「金色に輝く大額は〇〇色を背景にして、、、、」なんて記述があるかも知れません。  
 そこで、旭川市文学資料館を訪ねました。  
 ここで出会ったのが文学資料友の会の事務局をされている沓澤さんという方でした。  
 残念ながら沓澤さんは直接情報を持っていませんでしたが、「心当たりを当たってみます」という約束を得て帰って来ました。  
 そしてなんと私が長期旅行に出ているその旅行先に沓澤さんからメールが入ったのです。  
 「川端町に当事の記憶がある方が居る」と。  
 そこで旅行から帰って早速、川端町の棚田政夫さんという方を訪ねました。  
 83歳の棚田さんが言うには「額の色はグリーンだった」「CGのような赤では決して無い」というのです。ただ、数年前に脳梗塞を患っていることや、橋の色と額の色を混同した発言もあったので確実な情報とまでは言えませんでした。重要な生証言の一つでしょう。  
 さらには数日後、名刺を置いてきた棚田さんから電話が入り「6条で文房具屋を営む江口さんが詳しい」とのことです。  
 そこで江口文房具のご主人を訪ねると橋の額の色までは記憶に無いが、旭橋のたもとに戦前から住む小田薬局の主人が覚えているはずだとの情報を頂きました。  
 次から次へと伝言ゲームのように調査先が変わってゆきます。  
 そして小田薬局のご主人を訪ねると、ご主人の記憶では額の色はグリーンであったとのこと。  
 小田さんは大有小学校の教師をしていたそうで、なんと藤圭子の担任だったそうです。  
 まだ頭もハッキリしておりシッカリとした回答を頂きました。  
 これで調査を終えることが出来るでしょうか？  
 否です。  
 様々な方に聞いてきましたが、まだ確信をもって断言できるとはいえません。  
 そして問いかけた皆さんも現在進行形で周囲に聞いてみているようです。  
 今後さらに情報が集まる可能性も十分にあります。  
 旭橋を語る会の関根会長もこれから旭橋80周年記念行事関連でいろいろな人に会うので、皆さんと一緒に考えてみたいといってくださいています。  
 高田さんもNHKの旭橋特集番組の制作があるのでさらに色々な情報が集まると言ってくれています。  
 今現在のところでは資料的には赤っぽい色だった事を暗示する資料があるものの、過去の記憶からの調査では濃いグリーン地であったという証言が多いという状態です。  
 果たして、、、、。

蒸し暑いですね 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年 7月25日(水)18時16分51秒

[返信・引用](#)

かんじさん、IMAIさん、  
 様々な情報、また、メールをありがとうございます。

じゅじゅさん、ぜひまた書き込んでくださいね。

それにしてもかんじさん、意外と苦戦してますね。  
 それだけあちこちに足を運んでいけば、私もすぐに判明するだろうと思ったんですが・・・  
 もしかしたら「色」というのは人間の記憶の中で一番弱い部分なのかもしれませんね。

ただ、文字の描かれている旭日部分はおそらく金色か、それに近い金属色に間違いなさそうですね。

という事は、やはり派手な色なら印象に残るという事ですか。  
 裏を返せば旭日の背景の色はあまり印象に残る派手さはなかったという事になります。  
 同じ赤系でも、ちょっと暗めのえんじ色とかだったかもしれませんね。  
 (吉田初三郎の絵も色合的にはそう見えます)

私は北鎮記念館のレプリカの赤は少々明る過ぎではないかと思っています。  
 かんじさん、引き続き調査よろしく願います(笑)

ayumi 投稿者: [じゅじゅ](#) 投稿日: 2012年 7月13日(金)22時21分56秒

[返信・引用](#)

旭川の自然が大好きです。

軍人勅諭の大額の色 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 7月10日(火)10時00分43秒

[返信・引用](#)

その後も調査は続いておりました(^\_^;  
 旭川放送局の那須局長が常盤通りの佐藤理容院の方が古くて詳しいということを知っていたので、再び突撃取材しました。  
 確かに詳しく、子供の頃旭橋から飛び込んで泳いだ話などを聞かせてくれたのですが、軍人勅諭の色まで確定する資料や情報はお持ちではありませんでした。  
 ただ、色の着いた写真を見たことがあるんだよなあと言って、商工会議所にいる高田さんなら持っているかもしれないと紹介してくれました。  
 そこで後日、商工会議所2Fを訪れ高田さんという方にお会いしたのですが、この方が無茶苦茶旭川の歴史に詳しい方なんです。  
 年齢は54歳と聞いていましたが沢山の資料をお持ちで、その中に始めて見る軍人勅諭の大額を掛ける前の、出来たばかりであろう単品の額の写真があり、それにうっすらと茶色の彩色がされていました。  
 カラー写真ではないので何かの関係で着色したようにも見えますが、確定できるものではありません。  
 後で解った事ですが高田さんは「郷土史家」という肩書きを持ち、第一回のNHKなつかしの旭川映像セミナーで那須局長と共に解説をされていた方でした。  
 高田さんがいうには、額の材質はおそらく青銅製であるとのこと、旭日章の部分は金に光輝いていたであろうことです。背景は赤の可能性が高いけど派手な赤では無いと想像しますとのことでした。  
 青銅製といえば10円玉のようなものなので、着色無しの製造直後は光る茶色っぽい色だったかも知れません。  
 さてここまでなのですが、昨夜サンロクでスナックのママさんにこの額の話をしたら、それは旭川市の広報から広く市民に「記憶のある人が居ませんか」と呼びかけたほうがなんて話に発展しまして。資料を置いてきました。  
 ひょっとしたらそんな話になるかも、、、、。

PS.

市内の調査とは別に白黒写真のカラー化技術というのを調べていたのですが、カラー化は結局想像による着色であるという意見と。  
 「白黒写真の中にもカラーの情報が埋め込まれている」という意味深なものがありました。  
 確かにいかにも自動的にカラーを判別するような技術が紹介されているのですが、その原理を正確に説明したものではなく、白黒からカラー情報を確定するものとはいえないと感じた。

万事休す、、、、か 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 7月 5日(木)11時44分20秒

[返信・引用](#)

軍人勅諭の大額の色についてあちこち探っていましたが、どうしても確証が得られません。  
 当事の記憶のある方から聞くしかないということで、遂に終戦の時に大額を外した



と平成17年に証言していた川端町の渡辺哲三郎さんを訪ねました。  
 家の場所は知人のアドバイスで以外にも簡単に見つかりました。  
 「昔の人だから、電話帳に載っているんじゃない？」ってことで(^\_^;  
 確かに。でも最近では個人名の電話帳もあまりなくなっていますよね。  
 ホテルのフロントで電話帳をお借りして、渡辺哲三郎さんを探すとシッカリ載って  
 いました。  
 そこで、手土産を片手にお話を聞こうと伺うと、留守です。  
 嫌な予感がして2軒隣の方に、渡辺哲三郎さんをご存命ですか？と聞いたところ、  
 1年ほど前に亡くなりましたとの事、、、。onz

次に協力を求めたのは、なつかしの旭川映像セミナーなどを開催し旭川の歴史に詳  
 しそうなNHK旭川放送局の那須局長です。  
 さすがに那須さんは色々な情報源をお持ちのようで、「こんど常磐公園の特集と旭  
 橋の特集を企画しているので調べて見ましょう」との事でした。

そんな時、旭川市立図書館に調査を依頼していた真鳥さんからメールが入り、博物  
 館の岡本さんとも相談したのだけれど、資料としては軍人勅諭の大額の色を特定で  
 きる資料は見つかりませんでしたとの事。

もう一点、私の先輩の母親が女学校時代に、旭橋に軍人勅諭がかかっていた記憶が  
 あるとの電話が入りましたが、色の記憶まではハッキリしないこと、でも私がCGで  
 作ったような派手な赤ではなかった気がするということでした、、、。  
 確かに子供の頃の記憶って色まで覚えていないですよ。自分の記憶でも色はほと  
 んどないなあ。  
 白黒の夢しか見ないのも関係あるのかなあ、、、。

ロッキングカラム 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 7月 4日(水)18時47分6秒

[返信](#)・[引用](#) [編集](#)済

> [No. 631\[元記事へ\]](#)

IMAIさんへ

全くIMAIさんのユニークな視点には驚かされます。  
 と同時にそれを元にいろいろな発想が浮かびますので私も楽しいです。  
 さて、ロッキングカラムについて世間的に誤解もあるようなので説明を試みてみた  
 いと思います。  
 私も一応、元技術者の端くれなので、、、。  
 ロッキングカラムとは日本語に無理やり訳すと「揺れる柱」となります。(参照：  
 ロッキングチェア)  
 そして写真でいうと青い短い柱がそれにあたります。  
 IMAIさんの写真でよくわかるように、この柱の上下端が固定されていないため、  
 この柱は左右に傾く事が出来ます。  
 旭川の強烈な寒暖の差で伸び縮みすると赤で示した固定部分が動きますので、青い  
 柱が日本語訳のように若干でしようが傾く事になります。  
 これがロッキングカラムの原理です。  
 IMAIさんが写真でわかりやすく示してくれた移動式ナットの部分は、部材を固定し  
 ない事により、変形量を吸収する仕組みです。  
 さらに、固定していない黄色い部材は橋の強度を受け持っていない為、遊び部材と  
 呼ばれます。  
 これが無くても橋が壊れないという部材です。  
 こうしてみると、橋台から伸ばされたトラス構造の桁はロッキングカラムの部分で  
 上から乗っているだけの構造なんですね。  
 なかなか興味深いです。  
 PS.  
 解説してみました。私は決して橋の技術者ではないので、間違っている可能性もか  
 なりあります (笑)  
 「揺れる柱」「可動ボルト」という名前は私が勝手に付けた名前です (大笑)



Re: オフ会は・・・ 投稿者:IMAI 投稿日:2012年 7月 4日(水)14時57分3秒

[返信・引用](#)

> [No. 630\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> もちろんIMAIさんの参加は欠かせません（笑）  
有り難う御座います m(..)m

> 下の写真は、わざわざ季節をずらして定点撮影したのですね。  
> 私も初めて見ますが、旭橋のどの辺の部位なのでしょう。  
>

橋の上部構造と下部構造のに有ります。



---

Re: オフ会は・・・ 投稿者: momonga  投稿日: 2012年 7月 4日(水)00時09分51秒

[返信・引用](#)

もちろんIMAIさんの参加は欠かせません（笑）  
まだ少し間がありますので、後日またメールにて日程調整いたしましょう。

下の写真は、わざわざ季節をずらして定点撮影したのですね。  
私も初めて見ますが、旭橋のどの辺の部位なのでしょう。

---

Re: オフ会は・・・ 投稿者: IMAI 投稿日: 2012年 7月 3日(火)16時23分11秒

[返信・引用](#)



> [No. 627\[元記事へ\]](#)

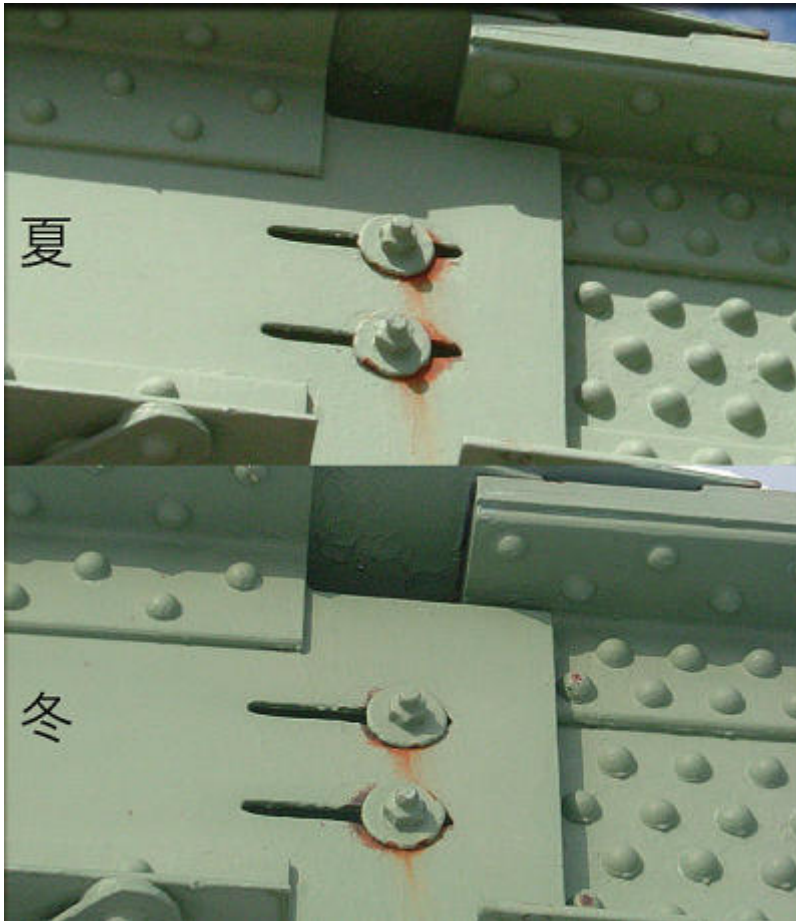
momongaさんへ

オフ会参加したいです！！

22日なら自分は、大丈夫です。

> そうなると22日以降という事になってしまいますか・・・。

↓ロッキングカラム温度に反応してリアルに動いているとは・・・



Re: オフ会は・・・ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 7月 3日(火)10時06分52秒

[返信・引用](#)

> [No. 627\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 一杯ひっかけながらの歴史談義が良いのではないのでしょうか（笑）  
それは盛り上がりそうですね。

旭橋の話をもにしたところ、実は私の叔父は旭川の師団で終戦を迎えたそうです。  
18歳くらいだったはずなので、旭橋の軍人勅諭は良く知っているはず、なのに。  
残念ながら2年前に他界していたのでした、、、、。  
遅かりし、、、、。

あてにしていた方からも連絡が来ないし、ダメかな。  
別の手を考えるか。

オフ会は・・・ 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2012年 7月 3日(火)00時15分35秒

[返信・引用](#)

一杯ひっかけながらの歴史談義が良いのではないのでしょうか（笑）

私はと言えはここ数日中には落ち着くのですが、まあ今週いっぱいでしょうね。  
そうなると22日以降という事になってしまいますか・・・。

実は私の親父は大戦末期に樺太にて軍に召集され、満州にて終戦を迎えた人間です。  
まだ元気でして、当時は樺太も七師団の隷下でしたから「もしかして灯台下暗しか？」と思い、旭橋の軍人勅諭を見た事があるかどうか訊いてみました。

ザンネンながら旭川の原隊に寄る事はなかったらしく「見た事ないな」という返事でした。

Re: 軍人勅諭はひよっとして 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 6月29日(金)15時33分3秒

[返信・引用](#)

> [No.625「元記事へ」](#)

momongaさんへ

> まあ、この調査はかんじさんに任せることにいたします（笑）  
あらあら、私のライフワークになったらどうしましょ。（^^）

> もうちょっとで仕事も落ち着きますので、オフ会計画しますか？

もうちょっとって？

来週ならいいですけど、その後だとちょっと予定が入っていて22日以降になっちゃいます。

ブラ旭川オフ会ですか。飲み会ですか。

平日の方が嬉しいんですけど。

PS.

今日の昼、旧岡田邸の蕎麦屋「紅雪庭」に行ってきました。

岡田邸は築79年だそうです。

もりそば一枚1,050円はどうかと思うけど、何人も居る店員さんが皆、まるで岡田邸の説明員のような様子でした。

Re: 軍人勅諭はひよっとして 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年 6月28日(木)21時19分44秒

[返信・引用](#)

かんじさん、IMAIさん、  
ここのところ仕事が詰まっております、なかなかレスする余裕がない間に話題に置いてかれそうです。 \_ \_ ;

旭橋の軍人勅諭の色・・・

私もこれまで深く気にした事がなかったです。

過去白黒写真ばかり見てきたので、一種の「刷り込み」でしょうか、IMAIさんの合成写真が全く違和感なく見えました。

少なくとも赤のような派手な色合いは、これまで想いも寄りませんでした。

せいぜい文字の書かれている旭日部分は真鍮の色かな？と想ってた程度です。

しかしながら、そう言われてみて改めて見直してみると、

北鎮記念館のレプリカは確かに下地が赤ですよ。

これまでの白黒写真で固定観念ができちゃってましたが、実は赤であっても青であってもおかしくない・・・

とりあえず何か手がかりがないかと、「旭川市史小話」の旭橋の欄を見ると、  
『・・・終戦までに橋の両端に軍人勅諭の五要目がかがやき、通行人はたとえ車内であっても一々礼をせねば通過できぬ関門になり、軍都としてのシンボルであった・・・』

とあります。

『かがやき』という表現を使うくらいですから、少なくともそれなりに目立っていたことが想像できますよね。

もしかして赤地ベースに、すぐに色のくすむ真鍮などでなく、金箔くらい塗ってたのかもしれないね。

まあ、この調査はかんじさんに任せることにいたします（笑）

もうちょっとで仕事も落ち着きますので、オフ会計画しますか？



Re: 軍人勅諭はひょっとして 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 6月28日(木)18時04分53秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

> [No. 623\[元記事へ\]](#)

IMAIさんへ

> 画像加工が好きでフォトショップは好きですネ。  
フォトショップですか。私もフォトショップは比較的良く使いますが、  
それで作り上げているなら、凄い腕だと思います。

さて、軍人勅諭の色を求めて、北鎮記念館を再び訪れました。  
平塚館長という方にお会いして、あのレプリカを作った方はわかりますか？という  
質問と、何を基にして作成したのでしょうか？

という質問でした。

その場での回答は得られずに、戻ってきたのですが。

平塚館長から電話がありまして、「あのレプリカは昭和39年の北鎮記念館開館の  
時には既にありました。」

「おそらく、開館にあわせて製作されたものではないでしょうか。」

「製作者は不明です。でも昭和39年であれば終戦当時を知る人はたくさん居たは  
ずなので、聞き取りをしながら製作したと思います」

「なので赤い背景は正しいと想像します」との事でした。

んー。これで確度は上がったもののまだ確証は得られません。

やっぱり、当事を知る人を探すしかないかと思い、常磐通りへ行って古そうな家に  
突撃(^\_^;

ところが、

最初の家の70代の男性には「軍人勅諭がかかっていたのは覚えているが色は覚えて  
いないな」といわれ、「二軒隣の〇〇さんなら知っていると思う」というので  
そちらを訪ねると、「私がここに来たのは60年前だから橋は今のままだった」と  
いわれ、「あの人は痴呆が入っている」といわれ、「石崎毛皮店の主人なら91歳  
だし知っているはず」といわれ行ってみると、娘さんが出てきて「父は高齢なので  
無理だと思う」といわれ。実際無理そうなほどの高齢でした。

結局、その時代を知っていそうな人は既に記憶を失っているという残念な結果とな  
りました。

平成17年の北海道新聞の記事によると、この軍人勅諭を外したという人が存在し  
ており記事になっています。川端町の渡辺哲三郎という人なのですが、当事77歳  
で今は存命ならば84歳になっているはずですが。

思ったよりも難攻していますが、3箇所くらいに声かけをしていますので、そのう  
ちにわかるでしょうかね。

別に2つほど手は考えているのですが、そっちに聞くと完全に私の調査を離れてし  
まうので、調べる面白さが減ってしまうのでもう少し待ってみます。(^^)/

偶然ではあるのですが今年は旭橋80周年記念の年なんですね。

その関係の調査ですか？と数人から聞かれました。



Re: 軍人勅諭はひよとして 投稿者:IMAI 投稿日:2012年 6月27日(水)21時40分28秒

[返信・引用](#)

> [No. 622\[元記事へ\]](#)

かんじさんへ

> IMAIさんの軍人勅諭はひよとして「3Dモデリングソフト」で作ってらっしゃる？  
> 立体感の表現力が凄いのでそう思ったのですが、。

自分は、フォトショップで作りました。

画像加工が好きでフォトショップは好きですネ。

ブラタモではないですが市内を一緒に歩きたいですね。

Re: 軍人勅諭はひよとして 投稿者:かんじ 投稿日:2012年 6月27日(水)17時20分26秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

IMAIさんへ

> 旧漢字が探せなくて、はしよりました。  
> 青海波は、再現はしているのですが陰影の付け方の度合いが分からず  
> なんともハッキリしない感じになってしまいました。  
なるほどそうでしたか。  
IMAIさんの軍人勅諭はひよとして「3Dモデリングソフト」で作ってらっしゃる？  
立体感の表現力が凄いのでそう思ったのですが、。

さて、軍人勅諭は何色だったのかという疑問を解くべく、一番詳しくな人にお会いして来ました。  
「旭橋を語る会」の会長さんで、北海道経済という雑誌に名橋・旭橋秘話という記事を連載されている、関根正次さんという方です。  
そして軍人勅諭は赤だったのではないですか？という質問をいろいろな確証をあげて説明したところ。  
あの軍人勅諭は何色だったのかという話題はこれまで出たことが無かったそうです。  
とうぜん会長さんでも答えを持ち合わせていなかったのですが。  
「非常に興味深いお話です」ということで真剣に話を聞いてくれました。  
今度いろいろと調べてみてくれるそうです。  
軍人勅諭が取り外されたのは、会長さんが4歳の時だったそうで会長さん自身は色の記憶が無いそうですが、  
年齢的には77歳以上の方であれば軍人勅諭を10歳以上の年齢で見ているので、記憶にある方がいるはずですよ。  
きっとそのうちに解るでしょう(^)

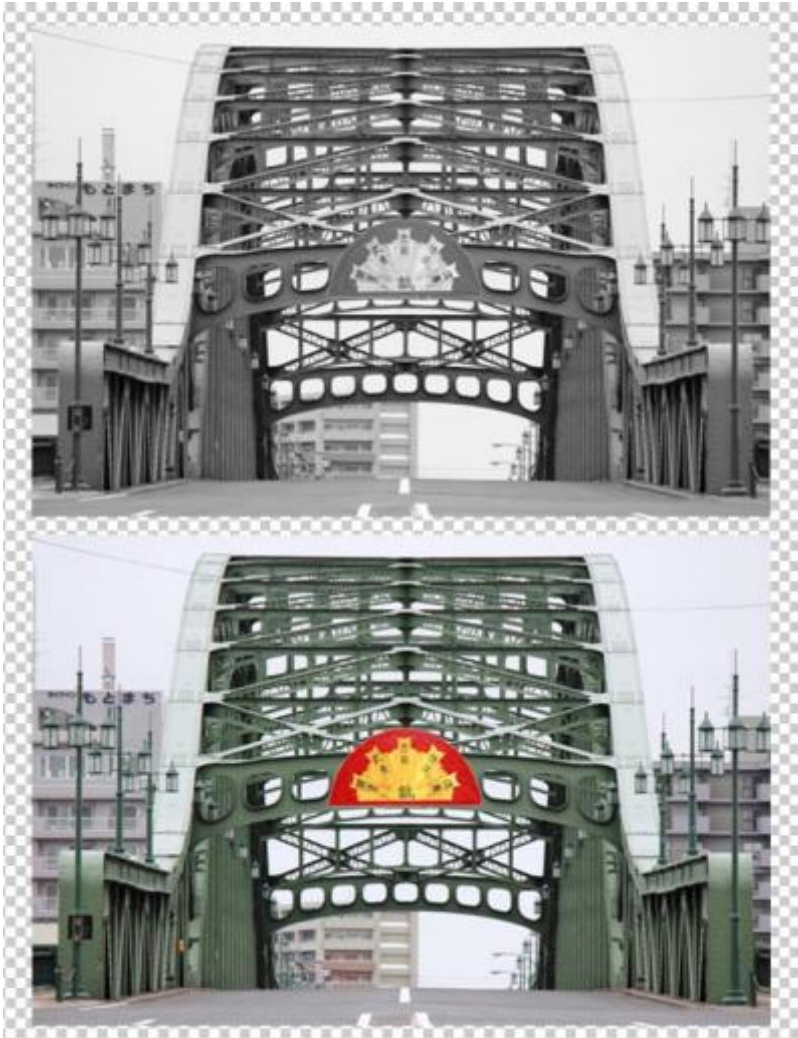
別角度からの旭橋に軍人勅諭をつけてみました。

赤だとかなり派手ですね。

さらに、この写真を白黒にしてみると、あらあれほど派手だった赤が橋と同じ色に、。

これも逆説ですが昔の白黒写真は実は赤だった可能性を示すものです。

写真では一枚ですが、軍人勅諭は橋の両側にかかっていたそうです。  
小さく見えますが、底辺の長さが5m程ありもの凄く重いもののようにです。  
終戦になったときにGHQが来たらこの勅諭は問題になるだろうということで、ウインチを使って急いで外したという話が伝わっているそうです。  
でも、その大きな鉄の塊がどこに行ってしまったのか、、、、。



Re: 軍人勅諭はひょっとして 投稿者: IMAI 投稿日: 2012年 6月27日(水)13時49分47秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

いやいや

かんじさん凄い情報ですね

旧漢字が探せなくて、はしよりました。

青海波は、再現はしているのですが陰影の付け方の度合いが分からず

なんともハッキリしない感じになってしまいました。

突っ込みどころ満載で・・・

軍人勅諭はひょっとして 投稿者: かんじ 投稿日: 2012年 6月26日(火)22時43分25秒

[返信・引用](#)

> [No. 613\[元記事へ\]](#)

IMAIさんへ

IMAIさんの写真を見て、あれ？当時カラー写真なんてあったっけ？  
と思ったら合成なんですね。そこで当時はどんな色だったのか気になりました。  
で、IMAIさんが北鎮記念館にレプリカがあるというので行って来たんです。  
なるほどありました。でもなんかIMAIさんの写真とは違うんですよ。  
北鎮記念館のものは木で作られたものようですが、赤いバックになっています。  
旭橋が出来た当時の写真を色々見ても白黒写真なのでどんな色であったのかよくわかりません。

唯一ヒントになりそうなのが、吉田初三郎という当時有名だった画家が描いたカラ

一の絵葉書の旭橋の絵に描かれている軍人勅諭を見ると明らかに赤っぽい色なんです。

吉田初三郎は出来るだけ正確に書く事を信条とした画家なので軍人勅諭は赤っぽかったのではないのでしょうか？

という事は北鎮記念館のレプリカが正しいとすれば、旭橋が出来た当時に掲げられていた軍人勅諭は赤い丸いバックをベースにして金の旭日章が描かれそこに軍人勅諭が書かれていた可能性もあると思います。

ということで当時のその雰囲気で作ってみました。

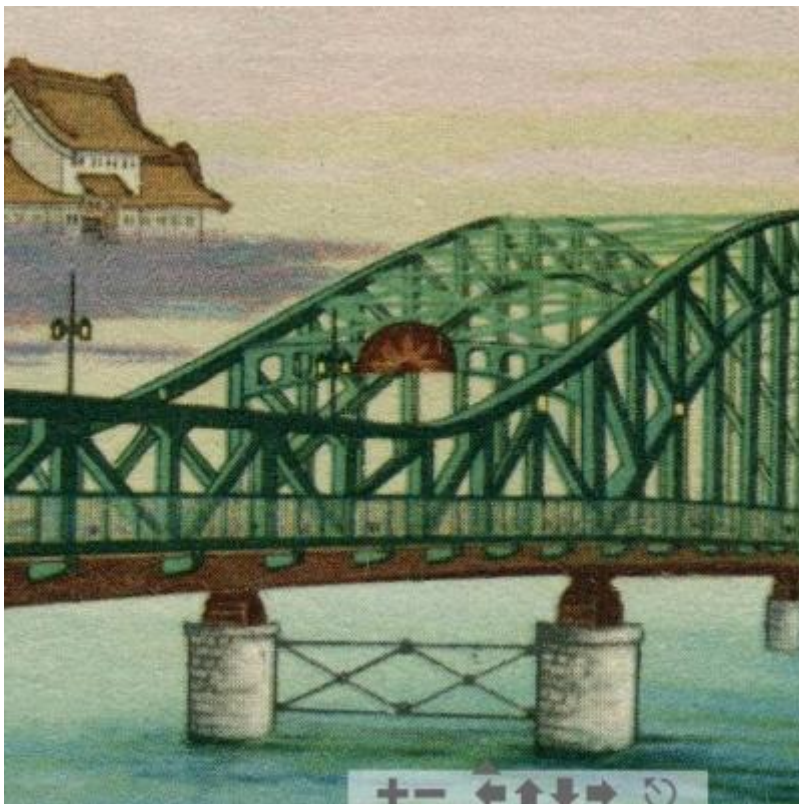
旭橋は I M A I さんの写真をお借りしました。

当時はこの下を通る時には皆礼をして通ったという記述は見ますが、どんな色だったのでしょうかね。

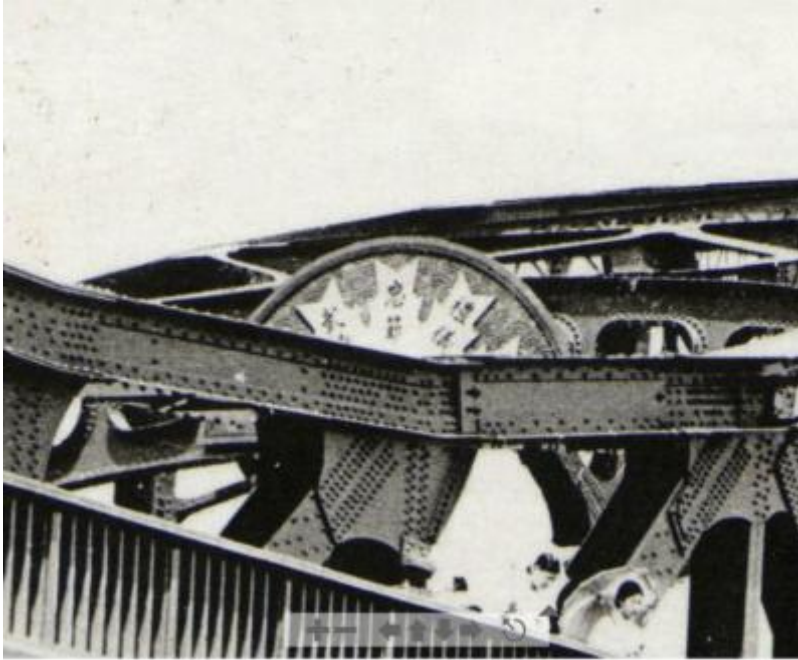
I M A I さんの作られた軍人勅諭凄くリアルですね。凄い技術です。

でも明らかに違う部分は礼儀の礼が本物は旧字です。

また、バックの台座には青海波（せいがいほ）文様が入っています。







Re: 提案が有ります 投稿者:IMAI 投稿日:2012年 6月25日(月)15時29分23秒

[返信・引用](#)

momongaさんへ

そうですね～

基本momongaさん管理のサイトを横から口出しは、失礼な事で・・・

自分の発想元としては、このまま旭川の古い記憶・建物・軌跡が無くなって行く事が

本当に良いのか！？と感じ。

で、書き込み形式でサイトを見ている方に写真を提供、情報のカキコを

してもらい、進化増殖する旭川の百年史。

それにはウィキ形態が良いと思いましたが

いろいろ難しい事有りますネ

＞ただ、今後「論・旭川」サイトを発展させる形でご意向に沿うような形態にして行くという事ならば考えなくもないですが、

＞技術面、管理面、自分の時間的制約を考えるとすぐには無理かと思えます。

北鎮記念館内に復元した 軍人勅諭が有りまして  
それを原型に自分で写真上に再現しました。

＞ちなみに、旭橋の画像の軍人勅諭の合成画像の原版となっているのは何ですか？

常磐公園の倒木 投稿者:かんじ 投稿日:2012年 6月25日(月)15時18分21秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

常磐公園の倒木を見てきました。

見事に倒れていますね。

人が下に居なかったのは幸いな事でした。

崖も雨で崩れますし、古い家もいずれは倒壊します。

木も老木となり支えを失えばいずれは倒壊することは避けられないでしょう。

しかし、いずれ倒れることはわかってても、それがいつなのかを、正確に予測することは現在の科学では不可能でしょう。

そこで大きな木の支えがどれだけあって安定しているのか危険なのかを大まかに予

測し、早めに手を打つ必要があると思います。  
今回倒れた木は「ドロの木」と呼ばれ、やなぎ科の木のようなですね。  
樹齢はおよそ80年~100年ということですが、木の安定は年齢よりもその内部に依存します。  
今回倒れた木を見ると、内部には大きな空洞が出来ほとんど腐っています。  
さらに一番の問題は根元が一本の木ではなく、もともとは2本に大きく幹が分かれた木でした。  
そしてその片方は既に伐採され、大きな切り株になっています。  
この切り株を見ても内部は大きな空洞になっていました。  
そして今回倒れた木の幹は古い幹に寄り添うように生えていたようですが、折れたその新しい断面を見ると、ほとんど支えが残っていなかった状態です。  
わずかに生きた断面だけで大きな木を支えていたのが、素人の私でもわかりました。  
つまり、この木が危険であったことは専門家はとうに気づいていたはずですが、その証拠に、片方の幹は既に切っているのですから。  
そこで二つの問題が頭をよぎります。  
一つは市の公園管理はこの危険な状態を知っていながら放置していたのではないかという疑問。  
そしてもう一つは、危険は理解していたが、伐採に反対する市民の運動を受けて危険でも放置せざるを得なかったのではないかという疑問です。  
どちららであっても問題だとは思いますが、明らかに危険な巨木は早急に対処すべきだと思いますね。  
現在、市による常磐公園の緑の計画がパブリックコメントを受けている段階ですが、堤防の改修は別にしたので、公園全体の管理はスムーズに進んで欲しいものです。







---

Re: 提案が有ります 投稿者: [momonga](#)✉ 投稿日: 2012年 6月24日(日)21時10分25秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

IMAIさん、  
もしかして私にそういうサイトをつくってくれという話なんですか^^;

IMAIさんが主体的にそういうサイトをつくられるという事ならば大いに協力いたしますが、  
もしそうでないならばなかなか難しい話だと・・・

ただ、今後「論・旭川」サイトを発展させる形でご意向に沿うような形態にして行くという事ならば考えなくもないですが、  
技術面、管理面、自分の時間的制約を考えるとすぐには無理かと思えます。

ちなみに、旭橋の画像の軍人勅諭の合成画像の原版となっているのは何ですか？

---

Re: 牛朱別川 投稿者: [momonga](#)✉ 投稿日: 2012年 6月24日(日)20時36分19秒

[返信・引用](#)

かんじさん、私は「ウッシュベツ川」と呼んでます（笑）

これは、どれが正しいとか間違いとかは無いと思えます。  
所詮アイヌ語に無理やり漢字を当てただけですから、語源に忠実に読もうと思えば  
限りなくアイヌ語の発音に近い読み方になりますし、  
漢字に忠実に読もうと思えば「ウシ・シュ・ベツ」になります。



ただし、役所で使う正式な読みはどうか？と問われると、通り名同様私も知りません。  
たぶん旭川市や周辺自治体、それに河川管理者である開建との間で統一されていないんだと思います。  
忠別川などは語源となってるアイヌ語解釈からして違ってきます。

意外と思われるかもしれませんが、私はアイヌ語の当て字に関してはどう読もうがあまり気にしてません。  
明治の開拓期、初めてアイヌ人と接した当時の和人が聞いて、聞いたままにカナ・漢字を当て、さらにそれが年月を重ねると共に訛り、さらにさらにそれに対して自分で直接聞いた訳でもない後年の学者・専門家がああでもないこうでもない意見を加える・・・  
結局のところ、かなりの部分実際には語源すら本当に正確なのかどうなのかも分かっていない、というのが実状ではないでしょうか。  
だから読みに関しては、大きく違わなければはつきり言ってどうでも良いと思っています。

あてにならないアイヌ語解釈・・・  
このことは、旭川の地名由来の誤った解釈にも通じる話です。

---

＞ 外部旭川人さん 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年 6月24日(日)18時43分10秒

[返信・引用](#)

IPアドレスより確かにインドからの投稿である事を確認いたしました。  
遠いばかりでなく、文化も習慣も異なる地での生活は何かと気苦労が多いでしょうね。  
それとも、それをエンジョイするタイプかな。

同じ外部でも随分と離れた地からの旭川への視点ですが、それもまた良いでしょう。  
距離・地域・場所に関係がない・・・正にこれこそがインターネットの最大の利点ですよね。  
今後ともこちらでは見聞きできないような情報がありましたら是非お教え下さい。  
逆にこちらの情報が知りたければ、私にわかる事であればお答えいたします。

---

Re: 提案が有ります 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2012年 6月22日(金)14時05分55秒

[返信・引用](#)

momongaさんへ

出張に行っていて返事が遅くなりました。

サイトの参考雛形は、特に無いのですが

しいて言えば...

初めて訪れた人が直感的に分かりやすくして

2クリックで目的のページに入れる感じが良いと思います。

＞ ベースになるサイトフォーム等を示していただければ何らかの協力はできるかと思えます。

＞ ぜひ、形にしたいですね。

＞

＞

＞



牛朱別川 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 6月20日(水)11時50分53秒

[返信・引用](#)

地名に詳しいmomongaさん、お時間があればお答えください。  
旭川市内を流れる有名な牛朱別川ですが、なんと読むのでしょうか？  
というのも3通りの記述を見かけるものですから。

1. ウシシュベツガワ
2. ウシュベツガワ
3. ウシベツガワ

2. と3. は北海道の河川看板にしっかり書かれていますし、  
旭川の歴史的文献にはウシシュベツガワという言葉がたくさん出てきますよね。  
語源はウシ・シ・ペツとの事ですので個人的にはウシシュベツが良いと思うのですが

中川に牛首別川という川があるので誤用を避ける為、あえてウシュベツガワとしているのでしょうか？

WEBの河川湖沼辞典では読みが「ウシシュベツガワ」となっていますし混乱しています。



(無題) 投稿者:外部旭川人 投稿日:2012年 6月18日(月)03時12分36秒

[返信・引用](#)

頂いたコメントにお返ししたいとおもいます。

>そもそもデータセンターを製造業や物流業と同列に考えている時点でアウトです。

僕もまったく同じような感覚でいました。なんか、中身を見ずになんか教科書的な枠組みだけ見て短絡的発想なんですよ。そんな気がします。

>私が思うに、旭川市にはこういった研究機関や企業、あるいは観光にしても、企画立案能力>や誘致する機能が欠如してるように思えます。

まったくです。前に見た経済系のウェブサイトのまちおこし特集記事では、旭山動物園の人気を全く生かしてない旭川市と酷評を書かれていました。現状を把握して活かす力がないように思います。

>自慢する訳じゃないですが、災害の少ない地の利を生かしたバックアップ都市構想などは、>私は10年以上前に考えてました。

さすがです。  
その点以外でも、旭川の軍都としての歴史など、非常に面白い記事が多く、楽しんで読ませていただいております。

(無題) 投稿者:外部旭川人 投稿日:2012年 6月18日(月)02時59分53秒

[返信・引用](#)



管理人様 書き込んでおいて、ここ1ヶ月色々忙しく、返事を見るのを忘れてしま  
って申し訳ありません。今はインドの研究機関で研究に従事しており、以前は台湾  
の新竹という街に住んでいました。いろいろなまちに住んでみて、旭川の街がいろ  
いろ見えてくるところがあって面白いです。話を都市計画の話題にすると、僕が以  
前住んでいた、新竹の都市計画は、非常に現状に即しており、旧帝大レベルの理系  
の大学を2つ要して、さらにコンピューターサイエンスの基地になっていま  
す。核となる大学があったのは大きく、また比較的便利の良い場所に学園都市を作  
ったので、非常に繁栄しています。日本のつくばにもいたことがあるのですが、絵  
に書いた餅で、不便この上ない。東京と行き来するビジネスが多いのになぜ鉄道が  
なかったか。どうやら、「未来はモタリゼーションの時代で鉄道はいらない」と  
役人が判断したらしいとのこと。わけがわかりません。最近30年たってやっとな  
くばエクスプレスができたという要領の悪さ。そのような稚拙な日本の都市計画  
に比べて、台湾の行政の取り組み方は理にかなっていて、つくばよりはるかに発展  
した新竹の様子に感心したものです。

僕自身はコンピューターの専門家ではないので、情報産業に関してはド素人です  
が、なんとなく、コンピューター産業は本当に要領を得たもの勝ちで、地の利の不  
利を逆転できる要素が詰まっていると思っています。海外からみて日本は最近の本  
当にマニュアルやいままでの慣習に縛られていて、頭ガチガチでこれじゃ韓国や台  
湾に負けてもしょうがないよなと思うようになっていきます。ネットブックに関して  
も台湾に完全に先をこされて、その捨て台詞が「日本は先に作れる技術を持っ  
ていたけど、先に台湾に売られただけだ」というのを聞きましたが、そのセリフは  
情報産業で生き残るセンスのなさや自分から証明しているように思えました。ポイ  
ントがずれている。消費者が欲しいものを要領よくつくってうるのが勝ちなんであ  
って、自己満足の高性能のものを要領外して売っていてもしょうがない。行政もメ  
ーカーも頭ガチガチで本当の要領を押さえていないから、再開発に公民館をつくる  
トンチンカンなことをするんでしょうね。管理人さんは僕よりもっと情報系の業界  
に詳しくあるので、いろいろ意見を伺えるとうれしいです。

## 第二師団創立記念行事 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 6月11日(月)12時31分37秒

[返信・引用](#)

6/10に行われた旭川駐屯地開設60周年記念、創立記念行事に行ってきました。  
内容的には、観閲式、関越行進、空挺隊員降下、公開訓練、装備品展示、焼きそば  
出店多数です。  
初めて見たのですが、思ったよりもずっと見ごたえがありました。  
いろいろ勘違いしていたこともあって、いろんな事を知ることが出来たので良かった  
です。  
まず、一般公開で観閲というのだからお客さんに見せるのだと思ったら、観閲する  
のはあくまでも自衛隊の幹部(★三つ付いた人)が観閲する行事なんですね(^\_^;  
一般市民はあくまでも、まあ勝手に見てくださいという立場。  
観閲行進は悪く言えばミニ北朝鮮みなたいパレードですが、かなりでかい155mmリ  
ゅうだん砲や架橋車や74戦車90戦車バイク部隊なんか思ったよりも速い速度で観  
客の前を走り抜けるのが迫力でした。  
また訓練展示という「模擬戦争」はなぜか赤いヘルメットをかぶった「仮想敵国  
(^^;」と自衛隊の向かい合っただけの打ち合いなんです。  
戦車の種類によって音の質や大きさが違うんですが、空砲とはいえ一斉に撃つとも  
の凄い音と振動に驚きます。会場内の子供が一斉に泣き出したのには笑ったです。  
なんとなくストーリーがあって、仮想敵国を殲滅するまで途中ヘリの参加も含めて  
延々と射ち合う(30分以上かな)かなりの迫力で、花火大会を真近くで見るに匹敵  
する面白さでした。  
一番驚いたのは、OH-1というとても機動力の優れたヘリが観客席の上で急上昇して  
失速するかなのような挙動からピタリとホバリングに移ったときは、マジで落ちるの  
かな!!って思っちゃいました。  
残念だったのは千歳からF15戦闘機が飛んでくる予定だったのですが、悪天候で中  
止とアナウンスされ周囲から落胆の声が上がっていました。  
公開訓練が終わって、焼きそばを買おうと思ったけど、そのときにはそれまでの観  
客が一斉に出店に流れ込み、長蛇の列で買うことが出来ませんでした(;\_;)  
以上、レポートでした。

## シンバルおじさん隊 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年 6月10日(日)21時47分44秒

[返信・引用](#)

今年も音楽大行進に行ってまいりました。

今年は80回目という事で参加団体も多く、好天に恵まれて観客の数も多かったよう

ですね。

開始の時点では非常に良い天気でしたが、午後から雨の予報だったのでちょっと心配しましたが幸い雨は落ちてきませんでした。

例年開会式では道警の音楽隊による素晴らしいドリル演奏が披露されるのですが、こればかりは写真ではなかなか伝わらないので、今回は動画を撮ってみました。

当掲示板でも動画のアップは可能なのですが、あまりにも容量が限られているのでYouTubeにアップしてみました。

<http://www.youtube.com/watch?v=9taOCnaEk1I>

---

線路の痕跡が無い(;\_;) 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 6月 8日(金)18時38分53秒

[返信・引用](#)

いやあ、無いもんですね。40年前の痕跡ならもう少しあるかと思ったけど、旭川電気軌道の軌道痕は見事にないです。

わずかに間接的な区画の跡だったり、当時の建物が残っているくらいです。

>IMAIさん

IMAIさんのアップしてくれた写真、東町小学校の校庭になにやら字が書かれているので、

ひょっとしてと思い、学校のWEBサイトを見てみたらしっかり乗っていました。なるほどね。

で、momongaさんのUPした写真にも載っている当事の倉庫は矢印の倉庫のようです。

他に東川の道中にも痕跡を探したんですが、これまでに知られている以外の痕跡は見つかりませんでした(;\_;)

気休めですが、旭正地区に残された倉庫のそばを通る電車を当事の写真と並べてみます。

それから、旭川追分駅の付近の線路がメイン道路を避けている件ですが、

私が思うには昭和2年当事であれば4条通りは25丁目付近までしかなく、

その先は人もあまり住んでいなかったように思います。

で、道路もひどく貧弱で細いものだったのではないのでしょうか。

で、25丁目より先は道路に線路を敷設できなかったと思われます。

昭和初期の地図を見ますと、線路は意図的に道路や家屋を避けて敷設したように見えます。

momongaさんがおっしゃる様に農作物の積み下ろしのため倉庫付近を通すように敷設したとも思えます。

あの辺りはいまもですが農協が大きな面積を占めています。

その辺りとの協議が行われたことは想像できますね。

もう一点、旭川追分は単なる駅ではなくかなり大きな車輛基地でもあったようです。

何両もの電車が置かれたり、修理や点検のための工場があってそこへの引込み線なども

多数あったような場所です。

それらこれらで、複雑な線形になったと思います。







Re: 提案が有ります 投稿者:momonga✉ 投稿日:2012年 6月 7日(木)21時56分58秒

[返信・引用](#)

> かんじさん

来ましたねえ～、ブラタモリごっこが・・・(笑)  
 いみじくも一ヶ月前、電気軌道の軌道跡に何か痕跡が残ってないか追ってきたところでした、  
 唯一、道路を外れて当時の軌道と一致しているのが東町小学校との敷地境界でした。  
 何故にあそこでわざわざ4条通りから外れる必要があったのか？ちょっと不思議だったのですが、  
 IMAIさんの投稿して下さった古い写真に何棟もの倉庫が並んでいるのを見て納得しました。  
 たぶん、旧旭正農協関連の倉庫に貨物を積み下ろししてたんでしょうね。  
 正直、あの近辺にあれだけの数の倉庫群が並んでいたとは知りませんでした。

> IMAIさん

実は、かんじさんとは昨年からは掲示板以外でもコンタクトを取っています。  
 私以上に”調査能力”のある方です(^)  
 ベースになるサイトフォーム等を示していただければ何らかの協力はできるかと思っています。  
 ぜひ、形にしたいですね。





《前のページ

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

次のページ》

以上は、新着順951番目から1000番目までの記事です。

/ 32 ページ移動

新着順  投稿順 表示切替

【論・旭川】 HPへ戻る

管理者へメール

[RSS](#)

管理者メニュー

自分の投稿の編集

[teacup.レンタル掲示板](#)